



(島根県道づくり調整会議)

道づくりだより 第101号



-Contents-

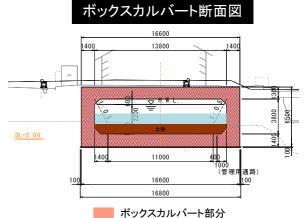
- 1. 国道432号大庭バイパス ボックスカルバート工事 ~街中の施工現場を紹介します~(道路建設課)
- 2. 10県知事会議で高速道路の早期整備を要望しました。(高速道路推進課)
- 3. 道路の規制状況は日本道路交通情報センターが便利です。(道路維持課)
- 4. 新しく農道の整備が始まります!! (農地整備課)

国道432号大庭バイパス ボックスカルバート工事

~街中の施工現場を紹介します~

道路建設課





交差点部のボックスカルバート工事について

国道432号の事業である大庭バイパスは、現在、市道と大庭バイパス本線が接続する交差点部の 工事「場所は頁下部の図を参照」を行っています。

その交差点部は斐伊川水系馬橋川上に位置する計画となりましたが、河川部分へボックスカルバートと呼ばれる水路を設置することにより計画箇所への交差点の設置を可能としました。

このボックスカルバートを設置する工事は、河川の付け替え工事であることに加え、交通量も多く、また住宅地も隣接する市街地において施工する工事であることから、周辺環境へ配慮した施工が必要となります。

普段、施工現場は囲いがあるため沿道からは何をしているのか見えにくくなっていますが、ボックスカルバート工事の実施にあたり、周辺の状況に対しどのような策を講じて施工しているのか、ご紹介します。

市道の交通や住宅地への影響を考慮した施工

- ○隣接する市道向山西口林原線の交通を確保し、また隣接する住宅地の山への影響を避けるため、ボックスカルバートの床掘の影響が出ない施工が必要です。
- ○これらの条件に対処するため、アンカー 式土留め工法を採用しました。



河川の増水を想定した施工

○増水時の河川及び河川沿い、また施工ヤードへの影響を考慮して仮水路は十分な断面を確保し、さらにwebカメラを設置して24時間体制で監視しています。

H27年度供用

ボックスカルバートの完成予定

○2017年8月を目標に工事を進めています。

施工中



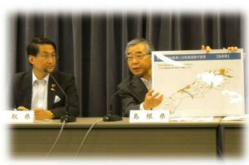
施工予定

10県知事会議で高速道路の早期整備を要望しました

平成28年7月22日(金)、高速道路の整備が遅れてい る 10 県(山形、福井、和歌山、鳥取、島根、山口、徳島、 愛媛、高知、宮崎)で結成した「高速道路のミッシングリ ンクを解消し日本の再生を実現する 10 県知事会議」で細 田自由民主党幹事長代行、江島国土交通大臣政務官、福田 主計局長へ山陰道の早期整備を要望しました。

溝口知事は県内へ進出した県外企業のうち、9割以上が 高速道路沿線で新設・増設をしていることを説明し、「高

速道路がつながると県内に経済面等、大きな波及効果がある」と強調しました。



《要望概要》

- ① 国の責任において高速道路ネットワークの早期形成を着実に進めること。
- ② 国土のリダンダンシーを確保するためには、ミッシングリンクの解消は必要不可欠 であり、未事業化区間の計画段階評価などの速やかな実施と早期事業化を図ること。
- ③ ミッシングリンクの解消が計画的かつ着実に進められるよう、使途を限定しない平 成 28 年度補正予算及び平成 29 年度の道路関係予算の総額確保を図るとともに、高 速道路を補完するネットワーク整備に必要な社会資本整備総合交付金の予算確保を 図ること。



細田自民党幹事長代行へ要望

・江島国土交通大臣政務官へ要望

・福田主計局長へ要望

道路の規制情報は、日本道路交通情報センターが便利です。

日本道路交通情報センターでは、島根県を含め全国の道路の交通規制情報を提供しています。電話やインターネットで道路の情報を知ることができますのでご紹介します。

○電話によるお問い合わせ

・全国の高速情報 050-3369-6700

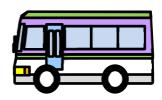
・島根県の情報 050-3369-6632

• 携帯電話短縮ダイヤル #8011 (携帯電話・PHS専用。 最寄りセンターのオペレーターが対応)

• その他の地域の電話番号は電話番号案内 Web サイトで知ることができます。

URL: http://m.jartic.or.jp/





〇パソコン等による情報収集

URL: http://www.jartic.or.jp/ (または「日本道路交通情報センター」で検索)



新しく農道の整備が始まります!!

農道を整備することで、農産物輸送に係る時間の短縮や車両の大型化による輸送の効率化が期待されるよ。



農道整備の効果

『しまねの農業農村整備 すごろく』キャラクター ドジョウのどうじょ君

農道整備事業は、農産物の流通の効率化を図り、農業の近代化や農業経営の安 定化に寄与しています。

また、中山間地域においては、一般道と共に農道が地域住民の生活道路としての役割を果たし、農村地域の生活環境の改善にも寄与しています。

平成28年度新規着手地区

